

⑩ 日本国特許庁(JP) ⑪ 特許出願公開
⑫ 公開特許公報(A) 平4-201879

⑬ Int. Cl.³
B 65 D 81/34
51/16

識別記号 庁内整理番号
U 7191-3E
Z 2330-3E

⑭ 公開 平成4年(1992)7月22日

審査請求 未請求 請求項の数 22 (全30頁)

⑮ 発明の名称 レンジ用容器

⑯ 特 願 平2-33116

⑰ 出 願 平2(1990)2月13日

⑱ 発 明 者 溝 口 恭 子 岐阜県大垣市外淵4丁目1番地の3
⑲ 出 願 人 溝 口 恭 子 岐阜県大垣市外淵4丁目1番地の3

明 細 書

1. 発明の名称
レンジ用容器

2. 特許請求の範囲

1. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器に弁を装着させ圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉及び中空層又は多重層による機能を有したことを特徴とした容器
2. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器にパッキンを装着させ圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉及び中空層又は多重層による機能を有したことを特徴とした容器
3. 特許請求の範囲第1項に特許請求の範囲第2項の機能を有した事の特徴とした容器
4. 容器に通気孔を有し通気孔の周囲又は部分に隔壁を設けて流出を防ぐ容器

5. 逆止弁及び調圧弁を装着させて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行ったことを特徴とする容器

6. 凹又は凸を単数又は複数に設けた蓋を開口部に凹又は凸を単数又は複数に設けた容器に係合してなる容器

7. 特許請求の範囲第6項の係合部分に螺状又は盛り上がり又は斜面又はストッパー等を設けて係合し、容器に蓋を密着させてなる容器

8. 特許請求の範囲第6項に特許請求の範囲第7項の特徴を有した容器の部分にパッキンを設けて気密を行うことが出来る事の特徴とした容器

9. パッキン又は弁体にひだ又は輪又はスリット又は溝又は重ね合わせ又は通気孔又は突起部又は凸、凹等を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行ったことを特徴とする容器

10. 身体又は蓋体にストッパー又は引っ掛け部を複数に設け身体と蓋体の係合を行って容器の圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う機能を有した事の特徴とした容器

特開平4-201879 (2)

- 1 1. 弁を有した容器の部分に郭壁を設けて流出を防ぐ容器
- 1 2. 特許請求の範囲第4項又は第11項に補助室を設けて圧力調整を行った容器
- 1 3. 容器の部分に穴を設け穴を覆うシートを一部又は全周を固定して弁体を形成してなる容器
- 1 4. 容器又は弁又はパッキンの一部に切り線を入れて弁体を形成してなる容器
- 1 5. 容器の一部に溝体を形成し加力にて特許請求の範囲第13項及び特許請求の範囲第14項の特徴を生じる容器
- 1 6. 容器の部分にシート又は物体を取り付ける事が出来る部分を持つて弁体と成す設定部を持った容器
- 1 7. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器に縁又は溝又は通気孔又はひだ又は輪又は重ね合わせ等を有して圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行なうことを特徴とする容器
- 1 8. 密閉部が形成される部分にコ字形状又はく形状のパッキンを設けてこのパッキンにて圧力調

整又は流量調整又は密閉を行える特徴を有した容器

1 9. 密閉部が形成される部分にコ字形状又はく形状の弁体を設けてこのにて圧力調整又は流量調整方向調整又は密閉を行える特徴を有した容器

2 0. 密閉部が形成される部分を多機能パッキン又は多機能弁を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉が行える特徴を有した容器

2 1. 容器の身体と蓋体との係合部又は容器の通気孔の部分又は密閉部が形成される部分に薄片の弁体を設け圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉が行える特徴を有した容器

2 2. 多重層の容器又は多重層及び単層を有した容器に特許請求の範囲第4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、項の特徴を有した容器

3・発明の詳細な説明 (産業上の利用分野)

この発明は、日常生活に使用する容器に関するもので、食品又は漬物等の保存、保温、料理、時に使用する容器に関するものである。

(従来の技術)

従来のレンジ容器はただ蓋をして、レンジで加熱するだけのもので圧力調整、流量調整、流出防止、蓋の脱着防止、保温、の事は出来なかった。

(発明が解決しようとする課題)

本発明は電子レンジ又はオープンレンジ又は電磁調理器等にて料理時に圧力調整又は流量調整又は流出防止又は蓋の脱着防止又は保温等に於て、より早く、より安全に、より美味しく、より長く温かい料理方法及び食品が望まれていた

(課題を解決するための手段)

請求項1にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持った保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁を兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱時に於て早く、より安全に、より美味しく、より長く温かい料理方法及び食品が望まれていた

が良い容器とするものがある。

請求項2にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持った保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来るパッキンを兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱時に於て早く、より安全に、より美味しく、より長く温かい料理方法及び食品が望まれていた

請求項3にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持った保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁及びパッキンを兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱時に於て早く、より安全に、より美味しく、より長く温かい料理方法及び食品が望まれていた

請求項4にかかる容器は容器の一部に通気孔を持たせて加熱時の圧力調整を行い更に容器の通気孔の周囲に隔壁を設けて通気孔より流出した流動物を郭壁にて流出を防ぐ事が出来る特徴を持たせるものである。

請求項5にかかる容器は容器に逆止弁、調圧弁を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密

閉を行える特徴を持たせるものである。

請求項6にかかる容器は丸、角等の凸又は凹を設けた蓋を開口部の身に丸、角等の凸又は凹を設けて容器に容易に嵌合してなるものである。

請求項7にかかる容器は請求項6にかかる容器の嵌合部分に鎖状、盛り上がり、斜面又はストッパー等を設けて、蓋が身に密着、閉まることを特徴とするものである。

請求項8にかかる容器は請求項6にかかる容器又は請求項7にかかる容器と嵌合のとき隙間が生じる場合がある従ってパッキンを設けて気密、着脱を行うことを特徴とするものである。

請求項9にかかる容器は容器の弁、パッキンの部分にひだ、輪、スリット、溝、重ね合わせ、通気孔、凸、凹等の部を設ける事により、良く圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉又は安全作動を行える特徴とするものである。又請求項8の特徴の構造に第9の特徴を付加価値を持たせてより良く圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉又は安全作動を行える特徴とするものである。

部、方向調整が行った特徴を持たせるものである。

請求項13にかかる容器は容器の一部に通気孔を設けてシート弁体にて密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行ったことを特徴とするものである。

請求項14にかかる容器は容器、弁、袋、パッキンの一部に切り線を入れて弁体を形成して、密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行った特徴とするものである。

請求項15にかかる容器は容器の一部に溝線を形成して力を加えたり又加圧したとき弁体が形成され密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行った特徴とするものである。

請求項16にかかる容器は密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行う為のシート又は物体を容器に取り付けて弁体となしたときその弁体を引っ掛けたり、押さえつけたり、挟み込んだり、差し込んだりする部分を有した事が出来る容器であることとするものである。

請求項17にかかる容器は、中空層の容器又は多

請求項10にかかる容器は身体又は蓋体にストッパー又は引っ掛け部を複数に設け身体と蓋体の係合を行う時引っ掛け部の装着位置に依り容器の圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う機能を有する特徴とするものの容器である。

身、蓋にストッパー、引っ掛け部を複数に設けてなる容器を身、蓋を正常にセットしてレンジで加熱を行った時、圧力の大小により第一フック部から第二、第三フック部へ段階的にフック部が移行し漏れを防ぎ安全を保つ事が出来る。又身、蓋等にパッキン又は弁を装着すれば加熱後第一フックにセットを直して気密にする事が出来る特徴を持たせるものである。

請求項11にかかる容器は容器の通気孔の周囲に隔壁を設けて通気孔より流出した流動物を隔壁にて流出を防ぐ事が出来る特徴を持たせる容器に更に弁を装着させて密閉、圧力調整、流動調整、方向調整が行うことができるものである。

請求項12にかかる容器は補助蓋を請求項4、11に設けてより効果的に密閉、圧力調整、流動調

整層及び単層を有した容器の部分に線溝又は通気孔又はひだ又は輪又は重ね合わせ等を有して圧力調整又は流量調整又は流動、方向調整又は密閉を行なうことを特徴とする事が出来る。

請求項18にかかる容器は身体と蓋体の開口部に蓋体を係合させその部分にコ字又は <、> 等の形状をなしたパッキンを有する事によりパッキンが弁の作用をなし圧力調整又は流量調整又は流動、方向調整又は密閉を行う事を特徴とするものである。

請求項19にかかる容器は身体又は蓋体の部分にコ字又は <、> 等の形状をなした弁体を有する事により効果的に密閉又は圧力調整又は流量調整又は流動、方向調整を行う事が出来る特徴とするものである。

請求項20にかかる容器は身体と蓋体の開口部に蓋体を係合させその部分に連結二重パッキン又は多機能パッキン等を設ける、又は蓋体に二重弁を又は多機能弁を設けて、密閉又は圧力調整又は流量調整又は流動、方向調整を行う事を特徴とするも

特開平4-201879 (4)

のである。

請求項21にかかる容器は開口部を密閉する蓋体又は開口部を密閉される身体等の開口部の密閉体の身体又は蓋体の先端部分をコ字型、>字、等に形状化する。上記の容器の身体又は蓋体が形状にて一体化された形状部の下部の薄片が使用時に於てパッキン又は弁に変化し得る構造を持ち密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整の働きを行えるものである。要するに容器と蓋との係合部に薄片の弁体を設け圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行うものである。

請求項23にかかる容器は中空層又は多重層及び単層を設ける事により保温、遠赤外線を発する機構、焦げない機構を有し、その容器に特許請求の範囲第4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、項の特徴を合わせ持つ事ができる容器

(実施例)

発明の複合機構を有する容器で、第1図の作動状態を示す所の容器の図である。

第5図aは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を装着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)より圧力調整、流量調整、流導、方向調整、密閉ができる蓋体(12)である。

第5図bは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴(6)を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を装着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)を閉止させた後、レンジにて加熱をかけて圧力が大になった時逆止弁(15)に設けた調節穴(13)と調節穴(13)

以下、本発明の実施例を説明する。

第1図は特許請求項第1、2、3、4、11、の発明の複合機構を有する容器で、容器の身体(1)、蓋体(2)が真空状態になる又は中空層を又は二重層となる構造を持ち、保温、焦げない機能、遠赤外線が発生する要素を備える。その身体(1)と蓋体(2)の係合部分にパッキン(3)を装着して密閉を行いより効率良く保温を行う。次に蓋体(2)に通気孔(5)並びに穴(6)を設けて弁体(4)を穴に装着して通気孔(5)を弁体(4)にて密閉、圧力調整、流量調整、流導、方向調整を行う。次に通気孔(5)の周囲に郭壁(7)を設けて加熱時に於てよきこぼれを生じても郭壁(7)にて流出を止める。従って流出を止める事が出来るのでレンジの庫内が汚れなく清潔に料理が出来るものである。又郭壁(7)を取っ手として利用することもできる便利な容器である。

第2図は特許請求項第1、2、3、4、11、の

の上に位置する通気孔(16)を通して排圧されて、更に上部調圧弁(14)にて圧力調整、流量調整、流導方向調整を行っている。この時逆止弁(15)の先端は圧力により通気孔(17)の部分を密閉し流圧するのを防いでいるところの作動を行っている所の蓋体(12)である。

第5図cは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴(6)を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を装着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)を閉止させた後、レンジにて加熱をかけて圧力が大になった時逆止弁(15)に設けた調節穴(13)と調節穴(13)の上に位置する通気孔(16)を通して排圧、流動され上部調圧弁(14)を持ち上げ排圧、流動される。従ってこの際に食物等の流動性が流出する時もある。更に加熱後、蓋体上部の流出物は通気孔(17)を通り逆止弁を押下し本体中に

逆流して納まる作用のところの蓋体(12)である。

第6図aは特許請求項第6の発明の蓋体(12)の形状の説明で身体(11)の耳受台面部分に置き止まる様に円形の形状を有した蓋本体(62)に外周が四角の形状体(63a)を有した部分を連結させる為に円筒体(66)を加付設置一体形状化した蓋体(12)である。

円筒体(66)の連結部分は身体耳受台面が係合する所となる。この係合なる部分は円筒体(66)の様な設置部分を有する事となりたっている。

第6図bは特許請求項第6の発明の身体(11)の形状の説明で身体(11)の開口部が四角の形状(63b)を成し、第4図aの蓋体(12)の下部の部分の外周の四角の形状体(63a)を有した蓋体の所を合わせられて係合出来る様に形成する。又四角の形状(63b)の延長状の外周面の耳受台面(65)の形状は第4図aの蓋体(12)の上

部円形の形状を有した蓋本体(62)が受合させる様な形状の円形と成した物である。

第6図cは特許請求項第6の発明及び特許請求項第8の発明で第6図aの蓋体(12)を第6図bの身体(11)に挿入させてから第6図aの蓋体(12)を回して嵌合して脱離を防いだ所の全体図である。この様な形状体を嵌合方法の施法を用いれば容易に係合、施行出来る。且つ製造方法も簡単でコストを安くなります。要するに従来の嵌合方法は陶器等に於て欠け、引っ掛け等に依るものであるから、製造方法が2工程製造による為に余分の手間のかかりおのずとコスト高となった。しかるに第6項の方法を行えば従来の欠点を解除する事が出来る。又蓋体(12)の四角の形状体(63a)を有した蓋体の部分を身体(11)の四角の形状(63b)の部分に合わせて挿入させる。次に蓋体(12)の四角の形状体(63a)の蓋体の部分が身体(11)の開口口の四角の形状(63b)を成した所から平面突起部と成している耳受台面(65)より下

部にセットした後に蓋体(12)を回して蓋体(12)の四角の形状体(63a)の先端が身体(11)の四角の形状(63b)の一週に嵌合出来る所に設定して係合する。前記作動により蓋の脱離が無くなる。その時身体(11)と蓋体(12)の嵌合部分に密閉出来ない部分が出来るとレンジで加熱を行つた時この通気孔の部分にて圧力を逃がす事が出来るので圧力が加わる要素が生じても爆発することなく安全性を保つ事ができる。しかしこの閉密閉する条件が生まれた時は身体(11)と蓋体(12)の合わせ部分にパッキン(3)を装着して密閉を計る。ここ掲げる第6図cは上部下部の二段形状の蓋体に沿うようパッキンをコ字状に装着して身体(11)の突起部裏の上下に馴染む様にする。更に蓋体(12)の中央に通気孔(5)を設けその通気孔を弁体(4)設置して加熱を行う。加熱の際は身体(11)と蓋体(12)の合わせ下部面のパッキンが圧力で押上られて身体(11)突起耳受台面(65)下部に密着して通気部を閉鎖する従つて中央の弁体(4)にて圧力調整、流量

調整を行わせる。加熱後は容器内が真空状態になって行くのでその時身体(11)突起耳受台面(65)上部にパッキン(3)を有した蓋体が密着して閉鎖を行う。その時パッキン(3)を有することにより力の配分を行い又密閉を行う事ができる。

パッキンの設置方法も加熱時もしくは保存等の仕様、目的に応じて異なってくる。保存だけの時は蓋体の上部の部分のみにパッキンを装着するだけでよい。加熱時の圧力減少流出封じに於ては蓋体の下部形状の下のみでよい。又圧力調整の時は蓋体の下部形状部の係合部のみでよい。この様にパッキンの装着部分は蓋体の上部又は下部又は身体(11)の上部又は下部等の部分のみに単独に又部分部分の両方に又は複数に又はコ字型等に形状化して取り付けられる事ができる。

第7図aは特許請求項第7の発明で第6図cは特許請求項第6の発明の第6図aの蓋体(12)を第6

図bの身体(11)に挿入させてから第6図aの蓋体(12)を回して嵌合して脱離を防いだ所の部分図に更に盛り上がり(73)を設けて密着を成した所である。

蓋体(12)の四角の形状体(63a)部分を身体(11)の四角の形状(63b)の部分に合せて挿入させ蓋体(12)の四角の形状体(63a)の部分が身体(11)の四角の形状(63b)よりつづく突起部の耳受台面(65)より下部にセットした時に蓋体(12)を回して蓋体(12)の四角の形状体(63a)の先端が身体(11)の四角の形状(65)の耳の部分の一週に嵌合して蓋(12)の脱離が無くなる様にセットする。その部分に螺状、盛り上がり、斜面(73)を装着してより良く密着及びストッパーの作用を行ったものである。何故ならば身体(11)の突起部の耳受台面(65)に蓋体(12)を着合させる時、その蓋体(12)は円形の形状(62)を有した蓋体本体の上部と四角の形状体(63a)を有した蓋体の下部と二段から成立ち上記円形の形

状(62)の上部と四角の形状体(63a)の下部との部分を連結するには円柱体(64)にて連結し、一体化した形状を有する蓋体(12)と成す。この時連結部の円柱体(64)の高さ長さの設定は、嵌合される身体(11)の突起部の耳受台面(65)の厚みに支配される。故ってこの煩わしさを解除するために、蓋体の上部(71)又は下部(72)の嵌合部分に螺状、盛り上がり、斜面を(73)設ける事により円柱体の連結部分(64)の余剰部分の補填を行って密度の高い嵌合を行う又はストッパーの働きをもなす。又この螺状又は盛り上がり又は斜面等は身体(11)又は装着されたパッキン(3)に設置、施行して、代用として行うことも出来る即ち容器の形状、用途、デザイン、目的に依って身体(11)、蓋体(12)、パッキン(3)と各々の何所により、螺状ね盛り上がり、斜面(73)を装着する事がある。

第7図bは特許請求項第7の発明で第7図aの蓋体

(12)を第6図bの身体(11)に挿入させてから第7図aの蓋体(12)を回して嵌合して脱離を防いだ所の容器である。

第9図a、b、b'、c、d、fは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分にひだ、輪、スリット、溝、重ね合わせ、通気孔等の部を設ける事により請求項8の特徴の構造に付加価値を持たせて各々の機能の良点をより効果に圧力調整又は流量調整又は流量方向調整又は安全を行える特徴とするものである。

第9図aは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に大きめなひだ(91)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になってひだの部分に圧力が集まった時蓋体と身体(11)の嵌合部分の上部に上がり圧力の分散を行う容器

第9図bは、特許請求項第9の発明の容器で、特

許請求項8にかかる容器パッキンの部分に通気孔を有したスリット(92)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔、スリット部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第9図b'は、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に通気孔を有したスリット(92)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔、スリット部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第9図cは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に溝(93)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になって溝の部分に圧力が集まった時圧力の流導を行う容器

第9図dは、特許請求項第9の発明の容器で、特

特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に重ね合わせ(94)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になって重ね合わせの部分に圧力が集まった時蓋体と身体の接合部分の上部に上がり圧力の分散を行う容器

第9図fは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に通気孔(96)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第9図g, g'は特許請求項第9の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている、更にその弁体の一部に溝(93)をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も行う事ができる容器とその作動を行っている所である。

第10図a, は、特許請求項第10の発明で、蓋体(2)の部分に引っ掛け部を階段式に縦に複数に設けて、その一部を身体(1)の内周部の取り付け部にひっかけて定着する。そのうち加熱を行う時は、第二以降の引っ掛け部(102)に引っかける事に依り圧力調整を行って安全に加熱を行っている容器である。又加熱後は第一引っ掛け部(101)に戻し密閉を行って保存を確実にする。身、蓋等にパッキン又は弁を装着すれば加熱後第一フックにセットを直して気密にする事が出来る特徴を持たせるものである。

又溝を有する事により加熱の時仮に間違えて第一引っ掛け部(101)に引っかけて設定し加熱を行っても浮上して爆発、脱離を防ぐ事が出来るものである。

第10図b, は、特許請求項第10の発明で、蓋体(2)の部分に引っ掛け部を階段式に縦に複数に設けて、その一部を身体の内周部の取り付け部

第9図h, h'は特許請求項第9の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている、更にその弁体の一部に溝(93)をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も突起部(98)に依って確実に行う事ができる容器と其の作動場面である。

第9図iは特許請求項第9の発明で圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている、更にその弁体の一部に溝、突起部(97)をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も行う事ができる作動を行っている所である。

第9図jは特許請求項第9の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている、更にその弁体の一部に溝、突起部(97)をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉もなしている所の容器である。

にひっかけて定着する。第二以降の引っ掛け部(102)に引っかけて加熱を行っている所の容器。

第10図c, dは、引っ掛け部が身体の外周部に設けてある容器とその作動図である。又は身、蓋にストッパー、引っ掛け部を複数に設けてなる容器の一部に通気孔(103)を設けて、正常に結合させてレンジで加熱を行った時、圧力の大小により第一フック部から第二、第三フック部へ段階的にフック部が移り爆発を防ぎ安全を保つ事が出来る。

第11図は特許請求項第4, 12, の発明の複合機構を有する容器で、容器の蓋体部分(12)に通気孔(5)を有し圧力調整を行いその通気孔(5)の周囲に郭壁(111)を設けて流動物の流出を郭壁(111)にて防ぐ。更に補助室(112)が郭壁(111)の外周を囲む様に設けてより効果的に圧力調整を行った容器である。

特開平4-201879 (8)

第12図は特許請求項第1、2、3、4、11、12、の発明の複合機構を有する容器で、容器の本体(1)、蓋体(2)が真空状態になる中空部分を有してなる構造を持ち保温を保持する多重層の本体(1)と多重層の蓋(2)。次に本体(1)と蓋体(2)の係合部分にパッキン(3)を装着して密閉を行いより効率良く保温を行う。次に容器の蓋体(2)に通気孔(5)を有し圧力調整を行いその通気孔(5)の周囲に郭壁(111)を設けて流動物の流出を郭壁(111)にて防ぐ更に補助室(112)を郭壁(111)内に設けてより効果的に圧力調整を行う。又蓋体(2)の通気孔(5)に弁体(4)を設けて圧力調整を行った容器である。更に補助室(112)に通気孔(6)を設けて二重の圧力調整を行ったものである。上記補助室(112)の通気口(6)に弁を郭壁(111)側にパッキンを設けても同じ機能を有する事ができる。

第13図a、b、は特許請求項第13の発明で容

器の蓋体(12)の一部に通気孔(5)を設けてその通気孔(5)にシートを点付け(131)して弁体(4)となし密閉又は圧力調整を行える容器である。

第13図c、は特許請求項第13の発明で 容器の蓋体(12)の一部に通気孔(5)を設けてその通気孔(5)にシートを2弁有して縦音開きに点付け(131)して弁体(4)となし又はシートにスリット(132)を入れて弁体(4)として点付を行い、密閉又は圧力調整を行える容器である。更にその作動状態を示す所を同図面内で点線で表して示した図である。又用途に応じて多弁を多方開きを行うことがある。

第13図d、は特許請求項第14の発明で 容器の蓋体(12)の一部にスリット(132)を設けて弁体となし圧力調整を行える容器である。更にその作動状態を示す所を同図面内で点線で表して示した図である。又用途に応じてスリットにて多

弁状態の重ね合わせてを設定し多方開きに行うことがある。

第14図a、b、cは特許請求項第14の発明で 容器の蓋体(12)の一部をC型に切り線(141)を入れる事により一点を差しC型に切り放して弁体(4)を形成した容器

第15図a、b、c、dは特許請求項第15の発明で蓋体(12)の一部をC型、I型に溝体(115)を形成して溝体(115)を力を加えて溝部分を切り放して通気孔(5)及び弁体(4)を形成した容器

第16図a、は特許請求項第16の発明で蓋体(12)の一部にシートを引っかけて止める事が出来る突起(165)を設けシートを装着する。通気孔(5)の上にシートを引っかけて弁体(4)となし圧力調整を行える容器の蓋体

第16図b、は蓋体(12)の一部にシートを挿入し止める事が出来る突起(163)を設け、シートを挿入して弁体(4)となし圧力調整を行える容器の蓋体

第17図a、は特許請求項第17の発明で中空層又は一重、多重層を持った身体(1)と蓋体(2)により成る容器の蓋体(2)に通気孔(5)をいれて流導を行い圧力排出を安全に行う事ができるものである。更に郭壁を設けた容器である。又鋼、ひだ、輪、重ね合わせ、突起をいれ流導を行えば圧力の配分を安全に行い且つ密閉も解除する事ができる。又蓋体(12)の上まで御飯、煮汁等の吹きこぼれを生ずるものは通気孔(5)、溝の大きさ、複数、形状で調節を行う様に蓋体(12)の上部迄流動した時は溝等の調節で身体(11)へ逆流導を行えるものである。

第18図aは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を係合させその部分にコ字又はく

> 等の形状をなしたパッキン(192)を有する事によりパッキン(192)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事の特徴とするものである。又密閉も行う事ができる所の身体(11)と蓋体(12)を個々別々図した容器である。又コ字又は<

> 等の形状をなしたパッキン(192)は身体(11)の方に設定する事もできる。

第18図bは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を係合させその部分にコ字又は<

> 等の形状をなしたパッキン(192)を有する事によりパッキン(192)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行った後の密閉を行った所の容器である。

第18図cは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を係合させその外周部分に密着する様にコ字又は<

事も出来るものである。蓋体、身体と個々別々に図したものである。

第21図bは特許請求項第21の発明で容器と蓋体(12)との係合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又加熱後は蓋体(12)の形状部の下部(192)の部分がパッキンになり密閉を行った容器である。

第21図cは特許請求項第21の発明で容器の開口部を密閉する蓋体(12)の先端部分をコ字型、>字、等に形状してコ字型の下部の部分に通気孔(211)を設けた蓋体(12)を身体(11)の外周部の溝合部分に係合を行う。蓋体(12)の形状化に依って蓋体(12)とパッキン(3)と弁体(4)の複合機能を有する様に一体化に成形する事により、蓋の形状部の下部(251)がパッキン(3)及び定着体となり加熱、使用時に於てパッキングを行い蓋の脱離を防ぎものである。又加熱、加圧時に於てそのパッキン(3)に

パッキン(19)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事の特徴とするものの容器である。又コ字又は<

> 等の形状をなしたパッキン(192)は身体(11)の方に設定する事もできる。

第21図aは特許請求項第21の発明で容器の開口部を密閉する蓋体(12)の先端部分をコ字型、>字、V字等に形状化して身体(11)に係合を行う。蓋体(12)の形状化に依って蓋体(12)とパッキン(3)と弁体(4)の複合機能を共に備えて、一体化と成す様に成形する為、蓋体(12)の形状部の下部(192)の部分が使用、加熱、加圧時に於て弁体(4)に変化し得る構造を持ち圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整の働きを行える特徴を有する事が出来るものである。要するに容器と蓋体(12)との係合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又加熱後は蓋体(12)の形状部の下部(192)の部分がパッキンになり密閉を行う

通気孔(5)を設けてパッキン(3)が弁体(4)に変化し得る構造を持ち圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉の働きを行える特徴を有する事が出来るものである。要するに容器と蓋体(12)との係合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又コ字型、<字型の成形部分は身体に一体化形状しても成し得る。プラスチック、ゴム等の材質を使用すれば容易に製造出来る物である。

4・図面の簡単な説明

第1図は本発明の実施例1、2、3、4、11、の断面図

第2図は本発明の実施例1、2、3、4、11、の断面図

第5図のa、b、c、は本発明の実施例5の断面図

第6図のaは本発明の実施例6の平面図

第6図のb、c、は本発明の実施例6、8の断面

図

第7図 a, b は本発明の実施例7の断面図

第9図の a, b, b', c, d, f, g, g', h, i, j は本発明の実施例9の断面図

第10図の a, b, c, d は本発明の実施例10の断面図

第11図は本発明の実施例4, 12, の断面図

第12図は本発明の実施例1, 2, 3, 4, 11, 12, の断面図

第13図 a, c, d は本発明の実施例13の断面図

第13図 b は本発明の実施例13の斜視図

第14図の a, b, は本発明の実施例14の斜視図

第14図 c は本発明の実施例14の平面図

第15図 a, b は本発明の実施例15の断面図

第15図 c, d は本発明の実施例15の断面図

第16図の a, は本発明の実施例16の断面図と平面図

第16図の b, は本発明の実施例16の断面図と

斜視図

第17図のは本発明の実施例17の断面図

第18図 a, c, d は本発明の実施例18の断面図

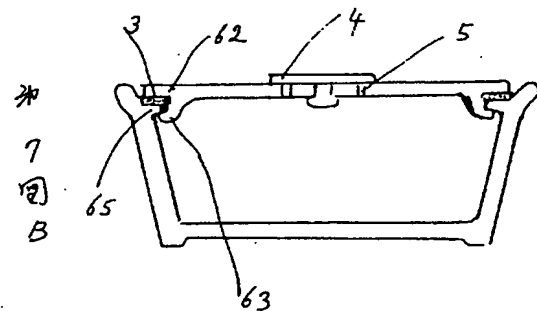
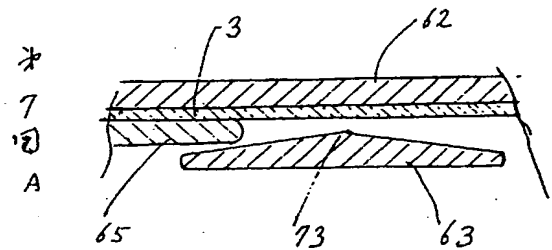
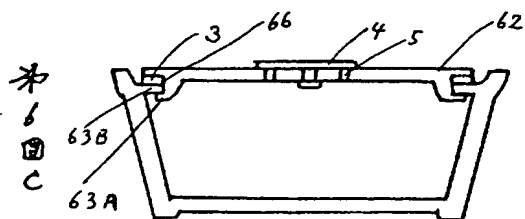
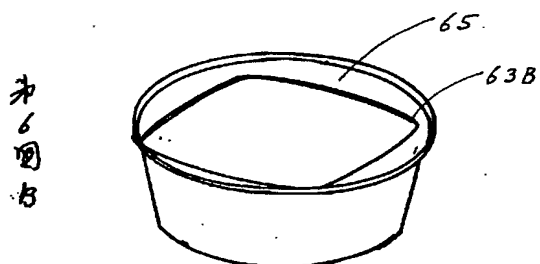
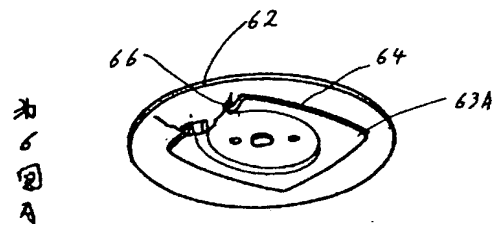
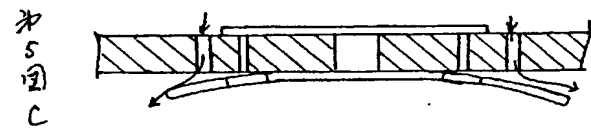
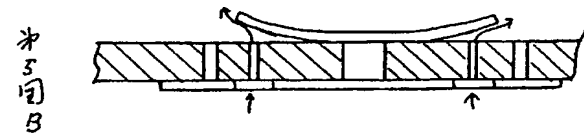
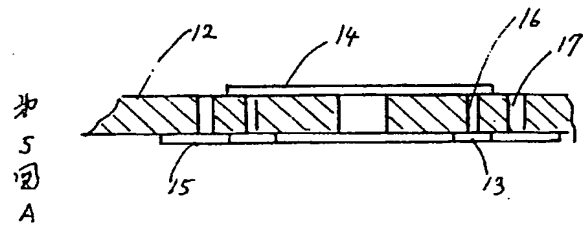
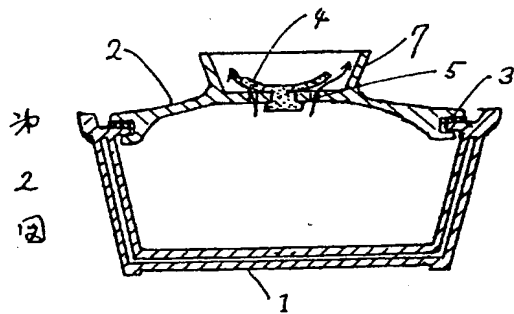
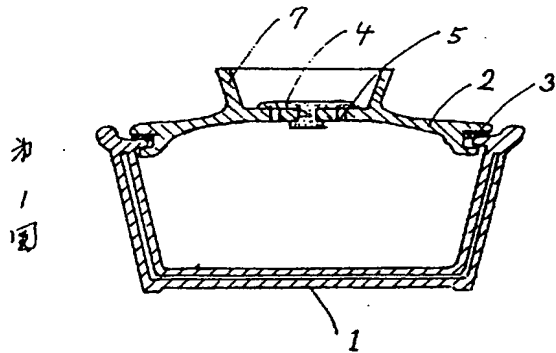
第21図の a, b, c, は本発明の実施例21の断面図

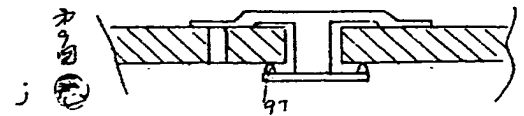
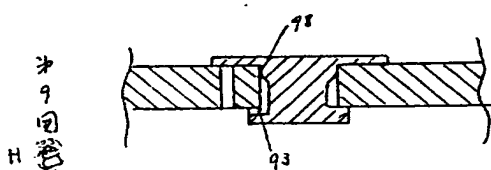
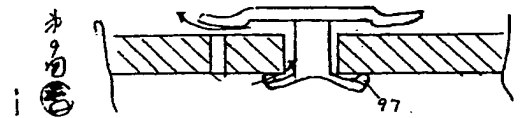
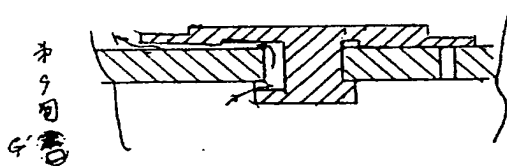
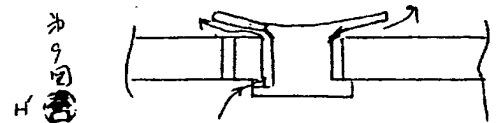
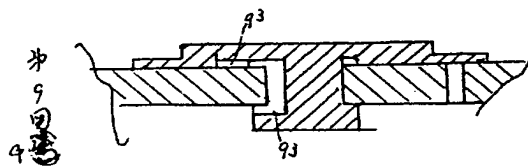
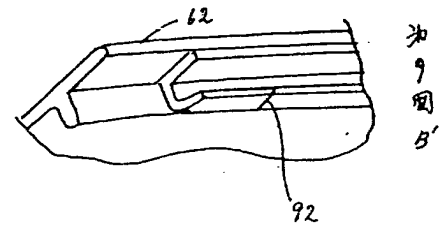
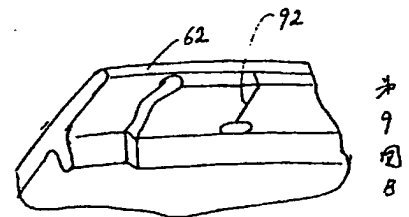
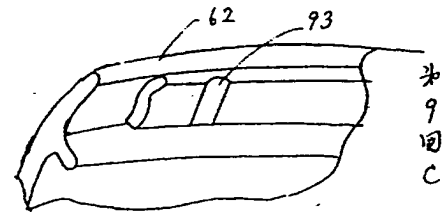
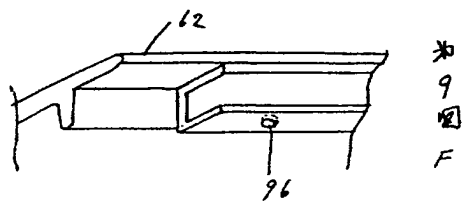
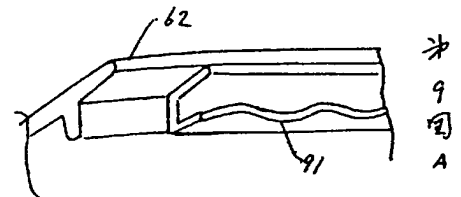
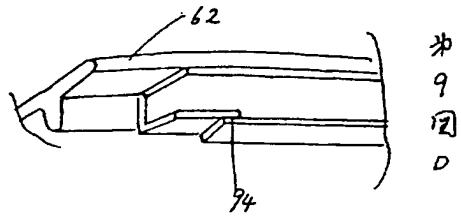
(主要部分の符号の説明)

1 身体
2 蓋体
3 パッキン
4 弁体
5 通気孔
6 穴
7 郭壁
11 身体
12 蓋体
13 調節穴
14 調圧弁
15 逆止弁

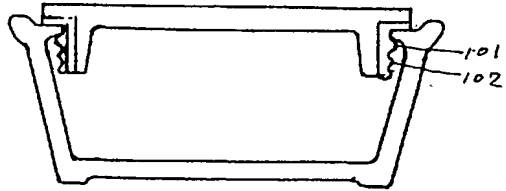
16 通気孔
17 通気孔
62 円形の形状を有した蓋本体
63 a 四角の形状を有した身体の部分
63 b 四角の形状を有した身体の部分
66 円筒体
65 耳受台面
73 盛り上がり部
101 第1引っかけ部
102 第2以降の引っかけ部
103 通気孔
111 郭壁
112 補助室
115 溝
131 点付け
132 スリット
141 切り線
151 溝体
161 シート
163 挿入

164 押え具
165 引っかけ
191 容器
192 パッキン
211 通気孔

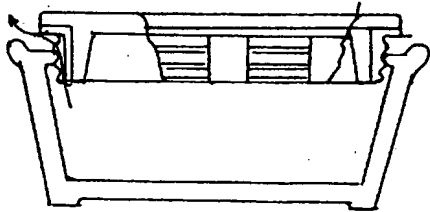




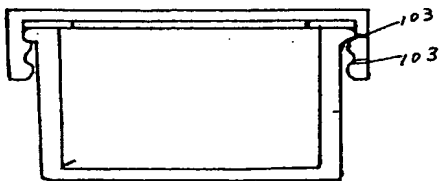
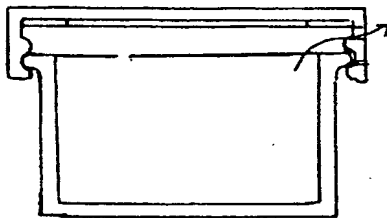
第10図A



第10図B

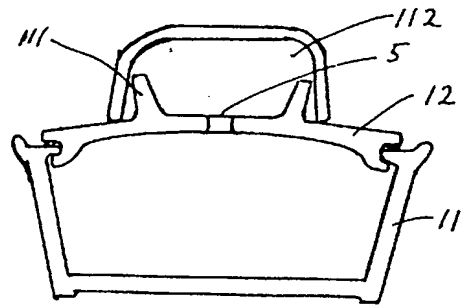


第10図C

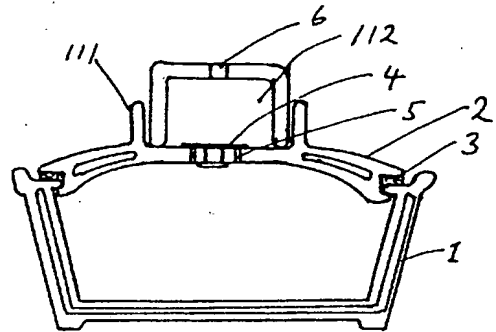


第10図D

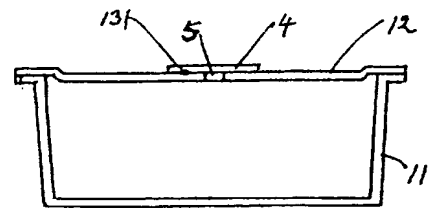
第11図



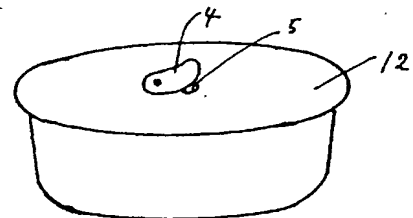
第12図



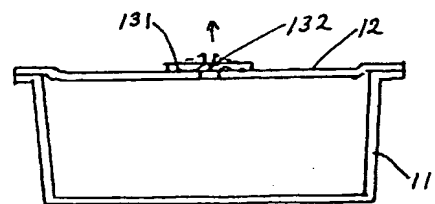
第13図A

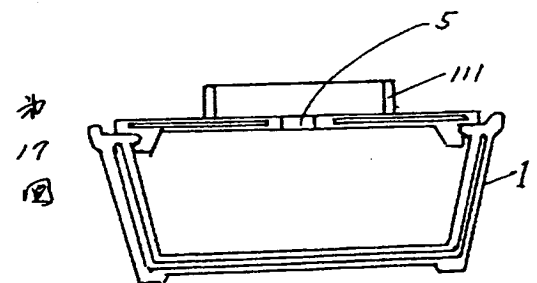
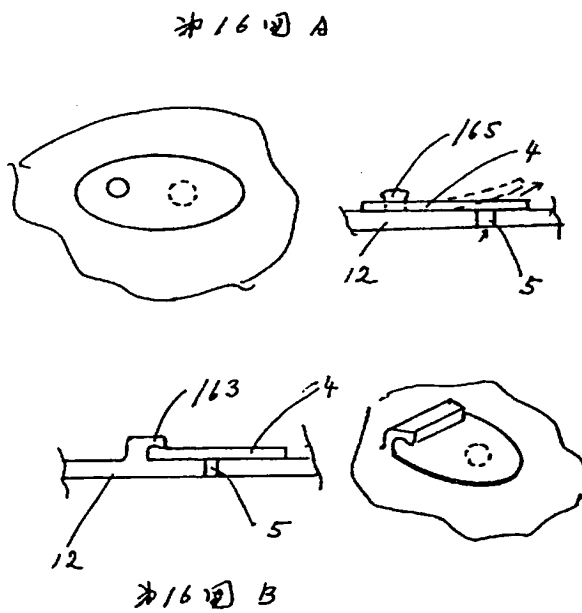
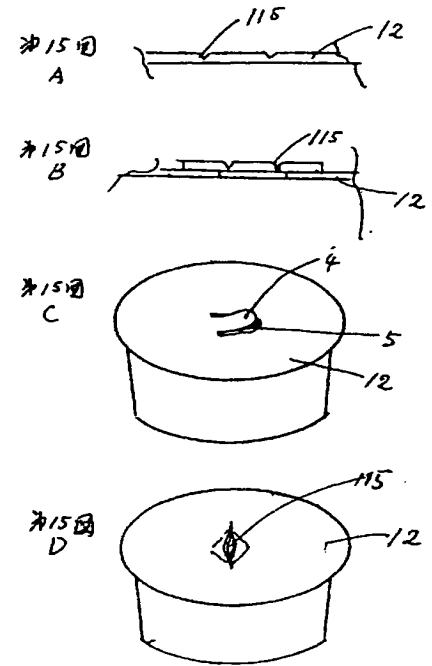
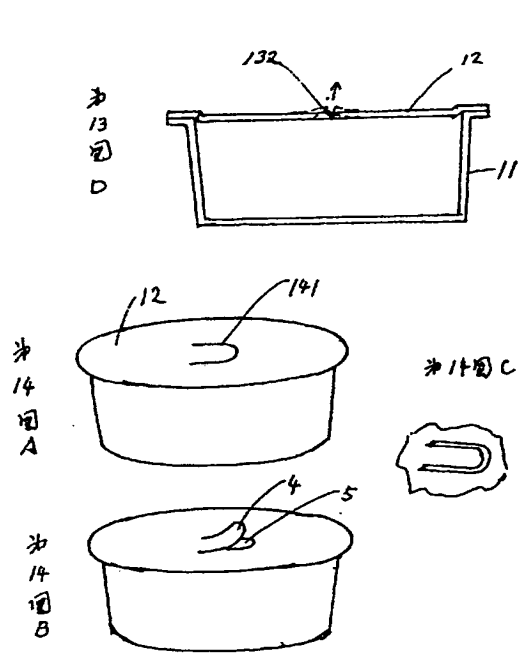


第13図B

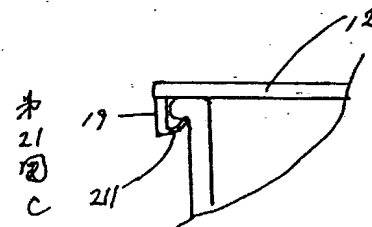
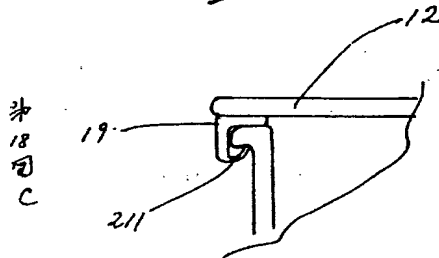
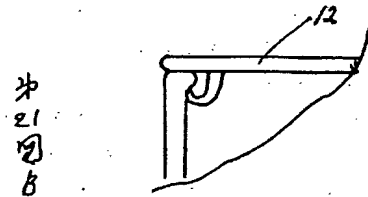
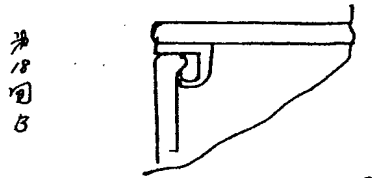
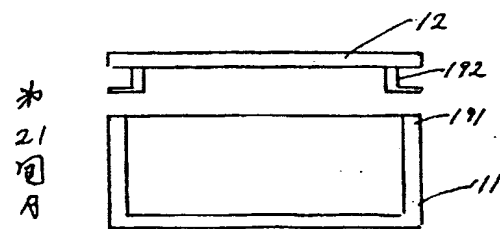
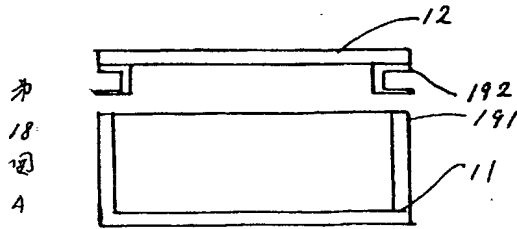


第13図C





特開平4-201879 (15)



手続補正書

平成4年2月18日

特許庁長官殿

1. 事件の表示 平成2年特許願第33116号

2. 発明の名称 レンジ用容器

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 岐阜県大垣市外瀬4丁目1番地の3

氏名 溝口 恭子

4. 補正命令の日付 平成3年12月24日

5. 補正の対象 1. 明細書を正確に記載した書面

2. 適正な図面

6. 補正の内容 1. 明細書の主旨に変更なし、図面のみ変更

2. 図面の主旨に変更なし、図面の

み変更

方式

新案

吉川



明細書

1. 発明の名称

レンジ用容器

2. 特許請求の範囲

1. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器に弁を装着させ圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉及び中空層又は多重層による機能を有したことを特徴とした容器

2. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器にパッキンを装着させ圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉及び中空層又は多重層による機能を有したことを特徴とした容器

3. 特許請求の範囲第1項に特許請求の範囲第2項の機能を有した事を特徴とした容器

4. 容器に通気孔を有し通気孔の周囲又は部分に抑壁を設けて流出を防ぐ容器

5. 逆止弁及び調圧弁を装着させて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行ったことを特

機とする容器

6. 凹又は凸を単数又は複数に設けた蓋を開口部に凹又は凸を単数又は複数に設けた容器に係合してなる容器
7. 特許請求の範囲第6項の係合部分に環状又は盛り上がり又は斜面又はストッパー等を設けて係合し、容器に蓋を密着させてなる容器
8. 特許請求の範囲第6項に特許請求の範囲第7項の特徴を有した容器の部分にパッキンを設けて気密を行うことが出来る事の特徴とした容器
9. パッキン又は弁体にひだ又は輪又はスリット又は溝又は重ね合わせ又は通気孔又は突起部又は凸、凹等を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行つたことを特徴とする容器
10. 身体又は蓋体にストッパー又は引っ掛け部を複数に設け身体と蓋体の係合を行つて容器の圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う機能を有した事の特徴とした容器
11. 弁を有した容器の部分に郭壁を設けて流出を防ぐ容器

19. 密閉部が形成される部分にコ字形状又はく形状の弁体を設けてこのにて圧力調整又は流量調整方向調整又は密閉を行える特徴を有した容器
20. 密閉部が形成される部分を多機能パッキン又は多機能弁を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉が行える特徴を有した容器
21. 容器の身体と蓋体との係合部又は容器の通気孔の部分又は密閉部が形成される部分に薄片の弁体を設け圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉が行える特徴を有した容器
22. 多重層の容器又は多重層及び単層を有した容器に特許請求の範囲第4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、項の特徴を有した容器

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、日常生活に使用する容器に関するもので、食品又は漬物等の保存、保温、料理、時

12. 特許請求の範囲第4項又は第11項に補助室を設けて圧力調整を行つた容器
13. 容器の部分に穴を設け穴を覆うシートを一部又は全周を固定して弁体を形成してなる容器
14. 容器又は袋又はパッキンの一部に切り線を入れて弁体を形成してなる容器
15. 容器の一部に溝体を形成し加力にて特許請求の範囲第13項及び特許請求の範囲第14項の特徴を生じる容器
16. 容器の部分にシート又は物体を取り付ける事が出来る部分を持つて弁体と成す設定部を持つた容器
17. 中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器に線又は溝又は通気孔又はひだ又は輪又は重ね合わせ等を有して圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行なうことを特徴とする容器
18. 密閉部が形成される部分にコ字形状又はく形状のパッキンを設けてこのパッキンにて圧力調整又は流量調整又は密閉を行える特徴を有した容器

に使用する容器に関するものである。

(従来の技術)

従来のレンジ容器はただ蓋をして、レンジで加熱するだけのもので圧力調整、流量調整、流出防止、蓋の脱着防止、保温、の事は出来なかった。

(発明が解決しようとする課題)

本発明は電子レンジ又はオーブンレンジ又は電磁調理器等にて料理時に圧力調整又は流量調整又は流出防止又は蓋の脱着防止又は保温等に於て、より早く、より安全に、より美味しく、より長く温かい料理方法及び食品が望まれていた

(課題を解決するための手段)

請求項1にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持った保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁を兼ね備えている。従つて食品のレンジ加熱時に於て早くむらなく煮る事が出来る。しかも加熱後も保温性の良い容器とするものがある。

請求項2にかかる容器は中空層又は一重と多重を

合わせ持った保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来るパッキンを兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱に於て早くむらなく煮る事が出来る。しかも加熱後も保温性が良い容器とするものである。

請求項3にかかる容器は中空層又は一重と多重を合わせ持った保温容器に圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁及びパッキンを兼ね備えている。従って食品のレンジ加熱に於て早くむらなく煮る事が出来る。しかも加熱後も保温性が良い容器とするものである。

請求項4にかかる容器は容器の一部に通気孔を持たせて加熱時の圧力調整を行い更に容器の通気孔の周囲に隔壁を設けて通気孔より流出した流動物を郭壁にて流出を防ぐ事が出来る特徴を持たせるものである。

請求項5にかかる容器は容器に逆止弁、調圧弁を設けて圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行える特徴を持たせるものである。

請求項6にかかる容器は丸、角等の凸又は凹を設

けた蓋を開口部の身に丸、角等の凸又は凹を設けて容器に容易に嵌合してなるものである。

請求項7にかかる容器は請求項6にかかる容器の嵌合部分に螺状、盛り上がり、斜面又はストッパ等を設けて、蓋が身に密着、閉まることを特徴とするものである。

請求項8にかかる容器は請求項6にかかる容器又は請求項7にかかる容器と嵌合のとき隙間が生じる場合がある従ってパッキンを設けて気密、着脱を行うことを特徴とするものである。

請求項9にかかる容器は容器の弁、パッキンの部分にひだ、輪、スリット、溝、重ね合わせ、通気孔、凸、凹等の部を設ける事により、良く圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉又は安全作動を行える特徴とするものである。又請求項8の特徴の構造に第9の特徴を付加価値を持たせてより良く圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉又は安全作動を行える特徴とするものである。

請求項10にかかる容器は身体又は蓋体にストッパ又は引っ掛け部を複数に設け身体と蓋体の係

合を行う時引っ掛け部の装着位置に依り容器の圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う機能を有する特徴とするものの容器である。

身、蓋にストッパ、引っ掛け部を複数に設けてなる容器を身、蓋を正常にセットしてレンジで加熱を行った時、圧力の大小により第一フック部から第二、第三フック部へ段階的にフック部が移り爆発を防ぎ安全を保つ事が出来る。又身、蓋等にパッキン又は弁を装着すれば加熱後第一フックにセットを直して気密にする事が出来る特徴を持たせるものである。

請求項11にかかる容器は容器の通気孔の周囲に隔壁を設けて通気孔より流出した流動物を郭壁にて流出を防ぐ事が出来る特徴を持たせる容器に更に弁を装着させて密閉、圧力調整、流動調節、方向調節が行うことができるものである。

請求項12にかかる容器は補助室を請求項4、11に設けてより効果的に密閉、圧力調整、流動調節、方向調節が行った特徴を持たせるものである。

請求項13にかかる容器は容器の一部に通気孔を設けてシート弁にて密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行ったことを特徴とするものである。

請求項14にかかる容器は容器、弁、袋、パッキンの一部に切り線を入れて弁体を形成して、密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行った特徴とするものである。

請求項15にかかる容器は容器の一部に溝線を形成して力を加えたり又加圧したとき弁体が形成され密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行った特徴とするものである。

請求項16にかかる容器は密閉、圧力調整、流動調整、方向調整を行う為のシート又は物体を容器に取り付けて弁体となしたときその弁体を引っ掛けたり、押さえつけたり、挟み込んだり、差し込んだりする部分を有した事が出来る容器であることとするものである。

請求項17にかかる容器は、中空層の容器又は多重層及び単層を有した容器の部分に縁溝又は通気孔又はひだ又は輪又は重ね合わせ等を有して圧力

調整又は流量調整又は流導、方向調整又は密閉を行なうことを特徴とする事ができる。

請求項18にかかる容器は身体の開口部に蓋体を係合させその部分にコ字又は <、> 等の形状をなしたパッキンを有する事によりパッキンが弁の作用をなし圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整又は密閉を行う事の特徴とするものである。

請求項19にかかる容器は身体又は蓋体の部分にコ字又は <、> 等の形状をなした弁体を有する事により効率に密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行う事が出来る特徴とするものである。

請求項20にかかる容器は身体の開口部に蓋体を係合させその部分に連結二重パッキン又は多機能パッキン等を設ける、又は蓋体に二重弁を又は多機能弁を設けて、密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行う事の特徴とするものである。

請求項21にかかる容器は開口部を密閉する蓋体

又は開口部を密閉される身体等の開口部の密閉体の身体又は蓋体の先端部分をコ字型、>字、等に形状化する。上記の容器の身体又は蓋体が形状にて一体化された形状部の下部の薄片が使用時に於てパッキン又は弁に変化し得る構造を持ち密閉又は圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整の働きを行えるものである。要するに容器と蓋との係合部に薄片の弁体を設け圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整を行うものである。

請求項23にかかる容器は中空層又は多重層及び単層を設ける事により保温、遠赤外線を発する機構、焦げない機構を有し、その容器に特許請求の範囲第4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、項の特徴を合わせ持つ事ができる容器

(実施例)

以下、本発明の実施例を説明する。

第1図は特許請求項第1、2、3、4、11、の発明の複合機構を有する容器で、容器の身体(1)、蓋体(2)が真空状態になる又は中空層を又は二重層となる構造を持ち、保温、焦げない機能、遠赤外線が発生する要素を備える。その身体(1)と蓋体(2)の係合部分にパッキン(3)を装着して密閉を行いより効率良く保温を行う。次に蓋体(2)に通気孔(5)並びに穴(6)を設けて弁体(4)を穴に装着して通気孔(5)を弁体(4)にて密閉、圧力調整、流量調整、流導、方向調整を行う。次に通気孔(5)の周囲に郭壁(7)を設けて加熱時に於てふきこぼれを生じても郭壁(7)にて流出を止める。従って流出を止める事が出来るのでレンジの庫内が汚れなく清潔に料理が出来るものである。又郭壁(7)を取っ手として利用することもできる便利な容器である。

第2図は特許請求項第1、2、3、4、11、の発明の複合機構を有する容器で、第1図の作動状態を示す所の容器の図である。

第3図Aは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を装着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)より圧力調整、流量調整、流導、方向調整、密閉ができる蓋体(12)である。

第3図Bは特許請求項第5の発明で蓋体(12)に穴(6)を設け調圧弁(14)及び逆止弁(15)を共に備えた弁体を装着する。弁体の一部に調節穴(13)を設ける。次に蓋体(12)に通気孔(16)(17)を複数に設けて、上記弁体にて通気孔(16)(17)を閉止させた後、レンジにて加熱をかけて圧力が大になった時逆止弁(15)に設けた調節穴(13)と調節穴(13)の土に位置する通気孔(16)を通して排圧されて、更に上部調圧弁(14)にて圧力調整、流量

調整、流導方向調整を行っている。この時逆止弁（15）の先端は圧力により通気孔（17）の部分を密閉し流圧するのを防いでいるところの作動を行っている所の蓋体（12）である。

第3図Cは特許請求項第5の発明で蓋体（12）に穴（6）を設け調圧弁（14）及び逆止弁（15）を共に備えた弁体を装着する。弁体の一部に調節穴（13）を設ける。次に蓋体（12）に通気孔（16）（17）を複数に設けて、上記弁体にて通気孔（16）（17）を閉止させた後、レンジにて加熱をかけて圧力が大になった時逆止弁（15）に設けた調節穴（13）と調節穴（13）の上に位置する通気孔（16）を通して排圧、流動され上部調圧弁（14）を持ち上げ排圧、流動される。従ってこの際に食物等の流動性物が流出する時もある。更に加熱後、蓋体上部の流出物は通気孔（17）を通り逆止弁を押し下げ本体中に逆流して納まる作用のところの蓋体（12）である。

第4図Cは特許請求項第6の発明及び特許請求項第8の発明で第4図Aの蓋体（12）を第4図Bの身体（11）に挿入させてから第4図Aの蓋体（12）を回して嵌合して脱離を防いだ所の全体図である。

この様な形状体を嵌合方法の施法を用いれば容易に係合、施行出来、且つ製造方法も簡単にコストを安くなります。要するに従来の嵌合方法は陶器等に於て欠け、引っかけ等に依るものであるから、製造方法が2工程製造による為に余分の手間のかかりおのずとコスト高となった。しかるに第6項の方法を行えば従来の欠点を解除する事が出来る。又蓋体（12）の四角の形状体（63A）を有した蓋体の部分を身体（11）の四角の形状（63B）の部分に合わせ挿入させる。次に、蓋体（12）の四角の形状体（63A）の蓋体の部分が、身体（11）の開口部の四角の形状（63B）を成した所から平面突起部と成している耳受台面（65）より下部にセットした後に蓋体（12）を回して

第4図Aは特許請求項第6の発明の蓋体（12）の形状の説明で身体（11）の耳受台面部分に置き止まる様に円形の形状を有した蓋本体（62）に外周が四角の形状体（63A）を有した部分を連結させる為に円筒体（66）を加付設置一体形状化した蓋体（12）である。

円筒体（66）の連結部分は身体耳受台面に係合する所となる。この係合なる部分は円筒体（66）の様な設置部分を有する事となりつつている。

第4図Bは特許請求項第6の発明の身体（11）の形状の説明で身体（11）の開口部が四角の形状（63B）を成し、第4図Aの蓋体（12）の下部の部分の外周の四角の形状体（63A）を有した蓋体の所を合わせられて係合出来る様に形成する。又四角の形状（63B）の延長状の外周面の耳受台面（65）の形状は第4図Aの蓋体（12）の上部円形の形状を有した蓋本体（62）が受合させる様な形状の円形と成した物である。

蓋体（12）の四角の形状体（63A）の先端が身体（11）の四角の形状（63B）の一週に嵌合出来る所に設定して係合する。前記作動により蓋の脱離が無くなる。その時身体（11）と蓋体（12）の嵌合部分に密閉出来ない部分が出来るとレンジで加熱を行った時この通気孔の部分にて圧力を逃がす事が出来るので圧力が加わる要素が生じても爆発することなく安全性を保つ事ができる。しかし、この際密閉する条件が生まれた時は、身体（11）と蓋体（12）の合わせ部分にパッキン（3）を装着して密閉を計る。ここ掲げる第4図Cは上部下部の二段形状の蓋体に沿うようなパッキンをコ字状に装着して身体（11）の突起部と蓋体（12）の凹部とに嵌合させる。更に蓋体（12）の中央に通気孔（5）を設けその通気孔を弁体（4）設置して加熱を行う。加熱の際は身体（11）と蓋体（12）の合わせ下部面のパッキンが圧力で押し上げられて身体（11）突起部と蓋体（12）凹部に密着して通気部を閉鎖する従って中央の弁体（4）にて圧力調整、流量調整を行わせる。加熱後は容器内が

真空状態になって行くのでその時身体(11)突起耳受台面(65)上部にパッキン(3)を有した蓋体が密着して閉鎖を行う。その時パッキン(3)を有することにより力の配分を行い又密閉を行う事ができる。

パッキンの設置方法も加熱時もしくは保存等の仕様、目的に応じて異なってくる。保存だけの時は蓋体の上部の部分のみにパッキンを装着するだけでよい。加熱時の圧力減少流出封じに於ては蓋体の下部形状の下のみで良い。又圧力調整の時は蓋体の下部形状部の係合部のみでよい。この様にパッキンの装着部分は蓋体の上部又は下部又は身体(11)の上部又は下部等の部分のみに単独に又部分部分の両方に又は複数に又はコ字型等に形状化して取り付ける事ができる。

第5図Aは特許請求項第7の発明で第4図Cは特許請求項第6の発明の第4図Aの蓋体(12)を第4図Bの身体(11)に挿入させてから第4図

63A)の下部との部分を連結するには円柱体(64)にて連結し、一体化した形状を有する蓋体(12)と成す。この時連結部の円柱体(64)の高さ長さの設定は、係合される身体(11)の突起部の耳受台面(65)の厚みに支配される。依ってこの煩わしさを排除するために、蓋体の上部(71)又は下部(72)の嵌合部分に螺状、盛り上がり、斜面を(73)設ける事により円柱体の連結部分(64)の余剰部分の補填を行って密度の高い係合を行う又はストッパーの働きをなす。又この螺状又は盛り上がり又は斜面等は身体(11)又は装着されたパッキン(3)に設置、施行して、代用として行うことも出来る即ち容器の形状、用途、デザイン、目的に依って身体(11)、蓋体(12)、パッキン(3)と各々の何所により、螺状ね盛り上がり、斜面(73)を装着する事がある。

第5図Bは特許請求項第7の発明で第5図Aの蓋体(12)を第4図Bの身体(11)に挿入させ

Aの蓋体(12)を回して嵌合して脱離を防いた所の部分図に更に盛り上がり(73)を設けて密着を成した所である。

蓋体(12)の四角の形状体(63A)部分を身体(11)の四角の形状(63B)の部分に合わせて挿入させ蓋体(12)の四角の形状体(63A)の部分が身体(11)の四角の形状(63B)よりつづく突起部の耳受台面(65)より下部にセットした時に、蓋体(12)を回して蓋体(12)の四角の形状体(63A)の先端が身体(11)の四角の形状(65)の耳の部分の一週に係合して蓋(12)の脱離が、無くなる様にセットする。その部分に、螺状、盛り上がり、斜面(73)を装着してより良く密着及びストッパーの作用を行ったものである。何故ならば、身体(11)の突起部の耳受台面(65)に蓋体(12)を着合させる時、その蓋体(12)は円形の形状(62)を有した蓋体本体の上部と四角の形状体(63A)を有した蓋体の下部と二段から成立ち上記円形の形状(62)の上部と四角の形状体(

てから第5図Aの蓋体(12)を回して嵌合して脱離を防いた所の容器である。

第6図A、第6図Bイ、第6図Bロ、第6図C、第6図D、第6図Eは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分にひだ、輪、スリット、溝、重ね合わせ、通気孔等の部を設ける事により請求項8の特徴の構造に付加価値を持たせて各々の機能の良点をより効果に圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整又は安全を行える特徴とするものである。

第6図Aは、特許請求項第9の発明の容器で、特許請求項8にかかる容器パッキンの部分に大きめなひだ(91)を持たせてる。加熱を行い圧力が大になってひだの部分に圧力が集まった時蓋体と身体(11)の嵌合部分の上部に上がり圧力の分散を行う容器

第6図Bイは、特許請求項第9の発明の容器で、

特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に通気孔を有したスリット (92) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔、スリット部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第 6 図 B ロは、特許請求項第 9 の発明の容器で、特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に通気孔を有したスリット (92) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔、スリット部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第 6 図 C は、特許請求項第 9 の発明の容器で、特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に溝 (93) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になって溝の部分に圧力が集まった時圧力の流導を行う容器

第 6 図 D は、特許請求項第 9 の発明の容器で、特

第 6 図 G イ、第 6 図 G ロは特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている、更にその弁体の一部に溝 (93) をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も突起部 (98) に依って確実に行う事ができる容器と其の作動場面である。

第 6 図 H は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている、更に、その弁体の一部に溝、突起部 (97) をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も行う事ができる作動を行っている所である。

第 6 図 I は特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている、更にその弁体の一部に溝、突起部 (97) をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉がなしている所の容器である。

特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に重ね合わせ (94) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になって重ね合わせの部分に圧力が集まった時蓋体と身体の接合部分の上部に上がり圧力の分散を行う容器

第 6 図 E は、特許請求項第 9 の発明の容器で、特許請求項 8 にかかる容器パッキンの部分に通気孔 (96) を持たせてる。加熱を行い圧力が大になった時通気孔部分より圧力が放出して圧力調整を行う事ができる容器

第 6 図 F イ、第 6 図 F ロは特許請求項第 9 の発明で圧力調整又は流量調整又は密閉を行う事が出来る弁体を備えている、更にその弁体の一部に溝 (93) をいれ流導を行えば圧力を安全に行い且つ密閉も行う事ができる容器とその作動を行っている所である。

第 7 図 A は、特許請求項第 10 の発明で、蓋体 (2) の部分に引っかけ部を階段式に縦に複数に設けて、その一部を身体 (1) の内周部の取り付け部にひっかけて定着する。そののち加熱を行う時は、第二以降の引っかけ部 (102) に引っかけ事に依り圧力調整を行って安全に加熱を行っている容器である。又加熱後は第一引っかけ部 (101) に戻し密閉を行って保存を確実にする。身、蓋等にパッキン又は弁を装着すれば加熱後第一フックにセットを直して気密にする事が出来る特徴を持たせるものである。又溝を有する事により加熱の時に間違えて第一引っかけ部 (101) に引っかけ設定し加熱を行っても浮上して爆発、脱離を防ぐ事が出来るものである。

第 7 図 B は、特許請求項第 10 の発明で、蓋体 (2) の部分に引っかけ部を階段式に縦に複数に設けて、その一部を身体の内周部の取り付け部にひ

つけて定着する。第二以降の引っかけ部(102)に引っかけで加熱を行っている所の容器。

第7図C、第7図Dは、引っかけ部が身体の外周部に設けてある容器とその作動図である。又は身蓋にストッパー、引っかけ部を複数に設けてなる容器の一部に通気孔(103)を設けて、正常に係合させてレンジで加熱を行った時、圧力の大小により第一フック部から第二、第三フック部へ段階的にフック部が巻り漏れを防ぎ安全を保つ事が出来る。

第8図は特許請求項第4、12、の発明の複合機構を有する容器で、容器の蓋体部分(12)に通気孔(5)を有し、圧力調整を行いその通気孔(5)の周囲に郭壁(111)を設けて流動物の流出を郭壁(111)にて防ぐ。更に補助室(112)が郭壁(111)の外周を囲む様に設けてより効果的に圧力調整を行った容器である。

明で容器の蓋体(12)の一部に通気孔(5)を設けてその通気孔(5)にシートを点付け(131)して弁体(4)となし密閉又は圧力調整を行える容器である。

第10図Cは特許請求項第13の発明で、容器の蓋体(12)の一部に通気孔(5)を設けてその通気孔(5)にシートを2弁有して無音開きに点付け(131)して弁体(4)となし又はシートにスリット(132)を入れて弁体(4)として点付を行い、密閉又は圧力調整を行える容器である。更にその作動状態を示す所を同図面内で点線で表して示した図である。又用途に応じて多弁を多方開きを行うことがある。

第10図Dは特許請求項第14の発明で、容器の蓋体(12)の一部にスリット(132)を設けて弁体となし圧力調整を行える容器である。更にその作動状態を示す所を同図面内で点線で表して示した図である。又用途に応じてスリットにて多弁

第9図は特許請求項第1、2、3、4、11、

12、の発明の複合機構を有する容器で、容器の本体(1)、蓋体(2)が真空状態になる中空部分を有してなる構造を持ち保温を保持する多重層の本体(1)と多重層の蓋(2)。次に、本体(1)と蓋体(2)の係合部分にパッキン(3)を装着して密閉を行いより効率良く保温を行う。次に、容器の蓋体(2)に通気孔(5)を有し圧力調整を行い、その通気孔(5)の周囲に、郭壁(111)を設けて流動物の流出を郭壁(111)にて防ぐ更に補助室(112)を郭壁(111)内に設けてより効果的に圧力調整を行う。又蓋体(2)の通気孔(5)に弁体(4)を設けて圧力調整を行った容器である。更に補助室(112)に通気孔(6)を設けて二重の圧力調整を行ったものである。上記補助室(112)の通気口(6)に弁を郭壁(111)側にパッキンを設けても同じ機能を有する事ができる。

第10図A、第10図Bは特許請求項第13の発

明の重ね合わせてを設けし多方開きに行うことがある。

第11図A、第11図B、第11図Cは特許請求項第14の発明で容器の蓋体(12)の一部をC型に切り離し(141)を入れる事により一点を残しC型に切り放して弁体(4)を形成した容器

第12図A、第12図B、第12図C、第12図Dは特許請求項第15の発明で蓋体(12)の一部をC型、I型に溝体(115)を形成して溝体(115)を力を加えて溝部分を切り放して通気孔(5)及び弁体(4)を形成した容器

第13図Aは特許請求項第16の発明で蓋体(12)の一部にシートを引っかけで止める事が出来る突起(165)を設けシートを装着する。通気孔(5)の上にシートを引っかけで弁体(4)となし圧力調整を行える容器の蓋体

第13図Bは蓋体(12)の一部にシートを挿入し止める事が出来る突起(163)を設け、シートを挿入して弁体(4)となし圧力調整を行える容器の蓋体

第14図は特許請求項第17の発明で中空層又は一重、多重層を持った身体(1)と蓋体(2)により成る容器の蓋体(2)に通気孔(5)をいれて流導を行い圧力排出を安全に行う事ができるものである。更に隔壁を設けた容器である。又、溝、ひだ、輪、重ね合わせ、突起をいれ流導を行えば圧力の配分を安全に行い且つ密閉も解除する事ができる。又蓋体(12)の上まで粥飯、煮汁等の吹きこぼれを生ずるものは通気孔(5)、溝の大きさ、複数、形状で調節を行う様にして蓋体(12)の上部迄流動した時は溝等の誘導で身体(11)へ逆流導を行えるものである。

第15図Aは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を係合させその部分にコ字又は<

パッキン(19)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事を特徴とするものの容器である。又コ字又は<

第16図Aは特許請求項第21の発明で容器の開口部を密閉する蓋体(12)の先端部分をコ字型、>字、V字等に形状化して身体(11)に係合を行う。蓋体(12)の形状化に依って蓋体(12)とパッキン(3)と弁体(4)の複合機能を共に備えて、一体化と成す様に成形する。蓋体(12)の形状部の下部(192)の部分が使用、加熱、加圧時に於て弁体(4)に変化し得る構造を持ち圧力調整又は流量調整又は流導、方向調整の働きを行える特徴を有する事が出来るものである。要するに容器と蓋体(12)との係合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又加熱後は蓋体(12)の形状部の下部(192)の部分がパッキンになり密閉を行う

>等の形状をなしたパッキン(192)を有する事によりパッキン(192)が弁(4)の作用をなし圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉を行う事を特徴とするものである。又密閉も行う事ができる所の身体(11)と蓋体(12)を個々別々固した容器である。又コ字又は<

第15図Bは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を係合させその部分にコ字又は<

第15図Cは特許請求項第18の発明で身体の開口部に蓋体を係合させその外周部分に密着する様にコ字又は<

事も出来るものである。蓋体、身体と個々別々に固したものである。

第16図Bは、特許請求項第21の発明で、容器と蓋体(12)との係合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又加熱後は蓋体(12)の形状部の下部(192)の部分がパッキンになり密閉を行った容器である。

第16図Cは特許請求項第21の発明で容器の開口部を密閉する蓋体(12)の先端部分をコ字型、>字、等に形状してコ字型の下部の部分に通気孔(211)を設けた蓋体(12)を身体(11)の外周部の接合部分に係合を行う。蓋体(12)の形状化に依って蓋体(12)とパッキン(3)と弁体(4)の複合機能を有する様に一体化に成形する事により、蓋の形状部の下部(251)がパッキン(3)及び定着体となり加熱、使用時に於てパッキングを行い蓋の脱離を防ぎものである。又加熱、加圧時に於てそのパッキン(3)に通気

孔(5)を設けてパッキン(3)が弁体(4)に変化し得る構造を持ち圧力調整又は流量調整又は方向調整又は密閉の働きを行える特徴を有する事が出来るものである。要するに容器と蓋体(12)との係合部に薄片の弁体(4)を設け圧力調整又は流量調整を行うものである。又コ字型、く字型の成形部分は身体に一体化形状しても成し得る。プラスチック、ゴム等の材質を使用すれば容易に製造出来る物である。

4・図面の簡単な説明

第1図は本発明の実施例1、2、3、4、11、の断面図

第2図は本発明の実施例1、2、3、4、11、の断面図

第3図Aは本発明の実施例5の断面図

第3図Bは本発明の実施例5の断面図

第3図Cは本発明の実施例5の断面図

第4図Aは本発明の実施例6の平面図

第4図Bは本発明の実施例6、8の断面図

第4図Cは本発明の実施例6、8の断面図

第5図Aは本発明の実施例7の断面図

第5図Bは本発明の実施例7の断面図

第6図Aは本発明の実施例9の断面図

第6図Bイは本発明の実施例9の断面図

第6図Bロは本発明の実施例9の断面図

第6図Cは本発明の実施例9の断面図

第6図Dは本発明の実施例9の断面図

第6図Eは本発明の実施例9の断面図

第6図Fイは本発明の実施例9の断面図

第6図Fロは本発明の実施例9の断面図

第6図Gイは本発明の実施例9の断面図

第6図Gロは本発明の実施例9の断面図

第6図Hは本発明の実施例9の断面図

第6図Iは本発明の実施例9の断面図

第7図Aは本発明の実施例10の断面図

第7図Bは本発明の実施例10の断面図

第7図Cは本発明の実施例10の断面図

第7図Dは本発明の実施例10の断面図

第8図は本発明の実施例4、12、の断面図

第9図は本発明の実施例1、2、3、4、11、12、の断面図

第10図Aは本発明の実施例13の断面図

第10図Bは本発明の実施例13の斜視図

第10図Cは本発明の実施例13の断面図

第10図Dは本発明の実施例13の断面図

第11図Aは本発明の実施例14の斜視図

第11図Bは本発明の実施例14の斜視図

第11図Cは本発明の実施例14の平面図

第12図Aは本発明の実施例15の断面図

第12図Bは本発明の実施例15の断面図

第12図Cは本発明の実施例15の断面図

第12図Dは本発明の実施例15の断面図

第13図Aは本発明の実施例16の断面図と平面図

第13図Bは本発明の実施例16の断面図と斜視図

第14図は本発明の実施例17の断面図

第15図Aは本発明の実施例18の断面図

第15図Bは本発明の実施例18の断面図
 第15図Cは本発明の実施例18の断面図
 第16図Aは本発明の実施例21の断面図
 第16図Bは本発明の実施例21の断面図
 第16図Cは本発明の実施例21の断面図

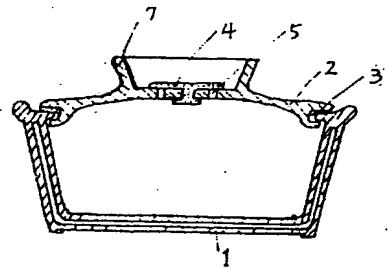
(主要部分の符号の説明)

1 身体
 2 蓋体
 3 パッキン
 4 弁体
 5 通気孔
 6 穴
 7 郭壁
 11 身体
 12 蓋体
 13 調節穴
 14 調圧弁
 15 逆止弁
 16 通気孔

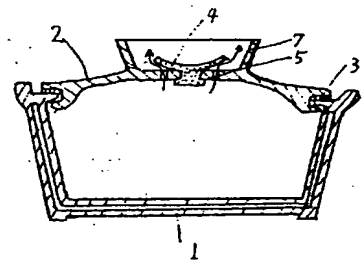
165 引っかけ
 191 容器
 192 パッキン
 211 通気孔

17 通気孔
 62 円形の形状を有した蓋本体
 63a 四角の形状を有した身体の部分
 63b 四角の形状を有した身体の部分
 66 円筒体
 65 耳受台面
 73 盛り上がり部
 101 第1引っかけ部
 102 第2以降の引っかけ部
 103 通気孔
 111 郭壁
 112 補助室
 115 溝
 131 点付け
 132 スリット
 141 切り線
 151 溝体
 161 シート
 163 押入
 164 押え具

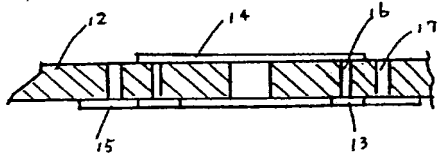
第1図



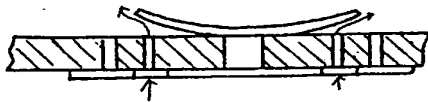
第2図



第3圖A



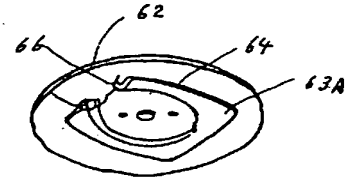
第3圖B



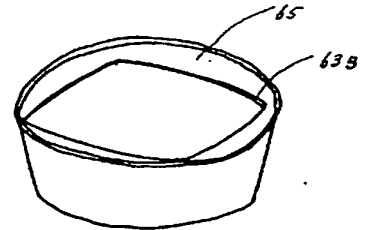
第3圖C



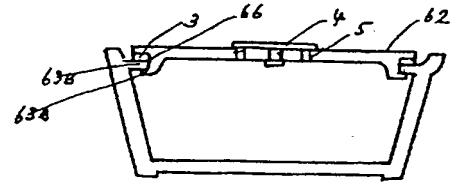
第4圖A



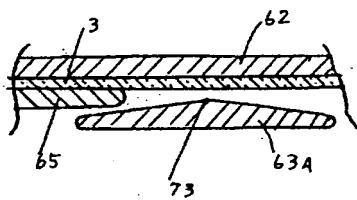
第4圖B



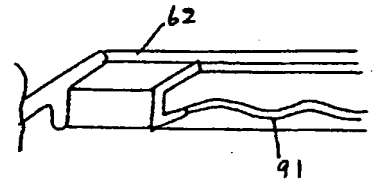
第4圖C



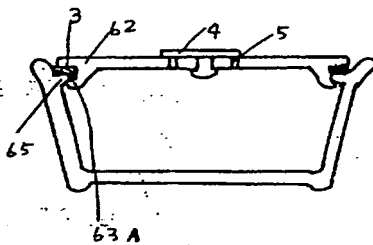
第5圖A



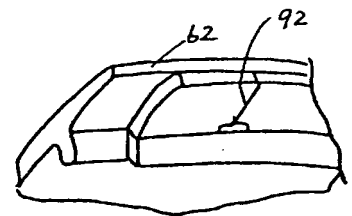
第6圖A



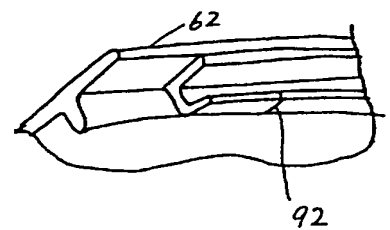
第5圖B



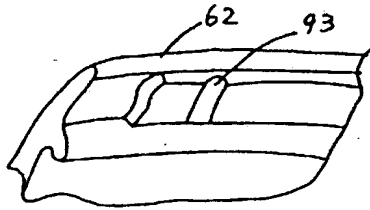
第6圖B1



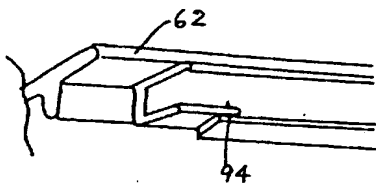
第6圖B2



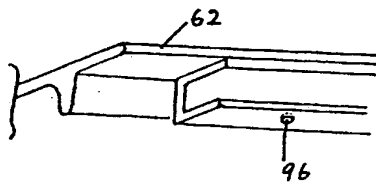
第6図C



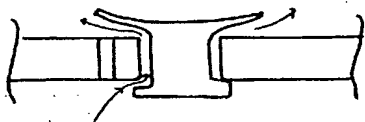
第6図D



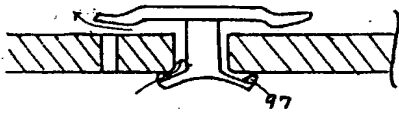
第6図E



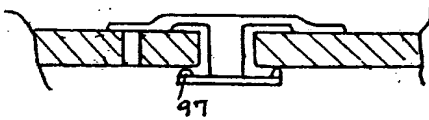
第6図G口



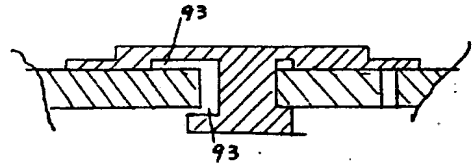
第6図H



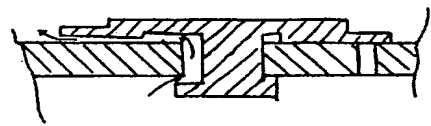
第6図I



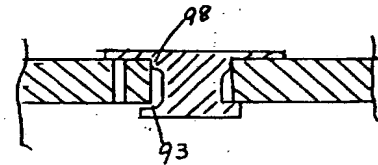
第6図F1



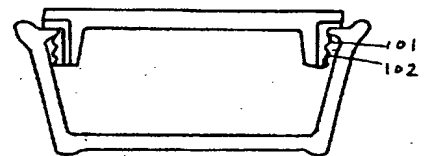
第6図F口



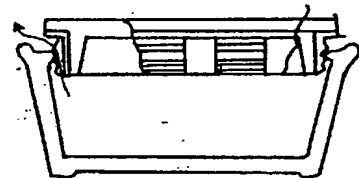
第6図G1



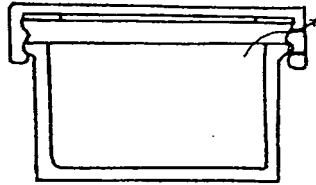
第7図A



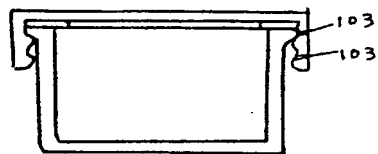
第7図B



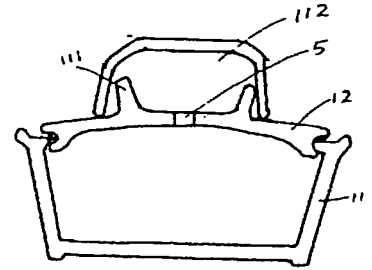
第7図C



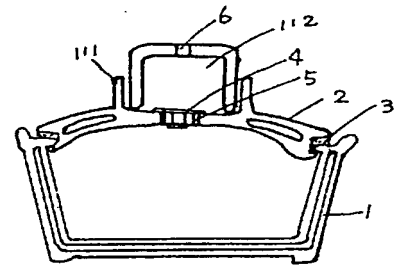
第7図D



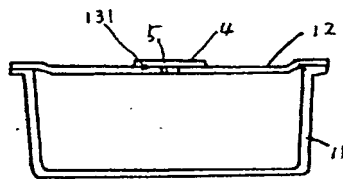
第8図



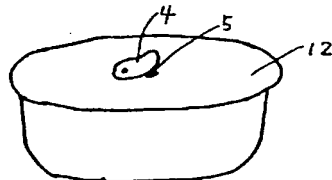
第9図



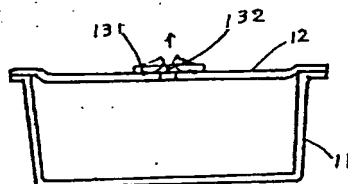
第10図A



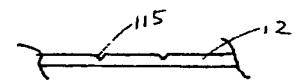
第10図B



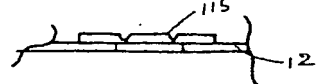
第10図C



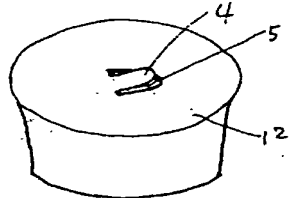
第12図A



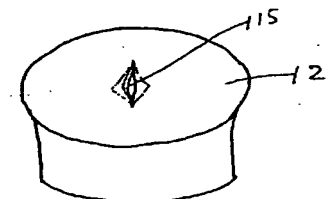
第12図B



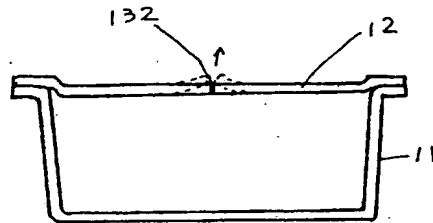
第12図C



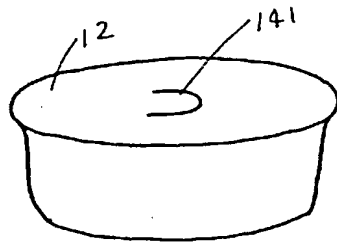
第12図D



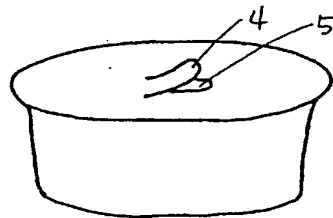
第10図D



第11図A



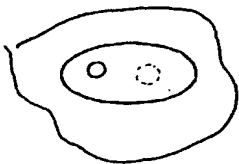
第11図B



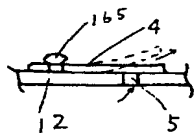
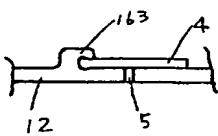
第11図C



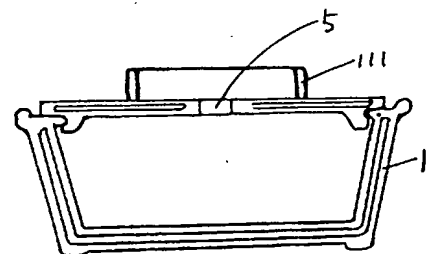
第13図A



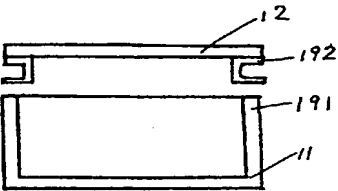
第13図B



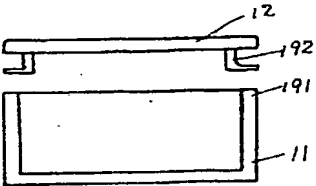
第14図



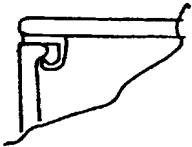
第15圖A



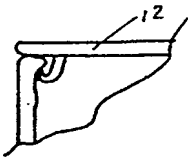
第16圖A



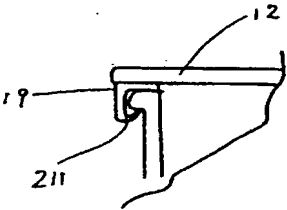
第15圖B



第16圖B



第15圖C



第16圖C

